

会 議 録

会議の名称	令和7年度 第1回 佐渡市下水道事業運営協議会
開催日時	令和7年5月27日（火） 13時30分開会 14時20分閉会
場所	真野行政サービスセンター 3階 大会議室
議題	(1) 佐渡市下水道事業の経営状況について (2) マンホールカード取組み状況について (3) その他
会議の公開・非公開 (非公開とした場合は、その理由)	非公開 (佐渡市情報公開条例第7条第5号に該当するため)
出席者	委 員 6名 事務局 上下水道課：増家課長・夏井課長補佐・山口課長補佐 下水道総務係：石塚係長・本間主任 西牧主任・椎 下水道工務係：堀部係長 下水道維持管理係：金子係長
会議資料	資料1 くらしを支える水道・下水道施設 資料2 上下水道事業の位置づけ 資料3 佐渡市下水道事業の経営状況 資料4 新潟県市町村の上下水道料金一覧 資料5 下水道料金ランキング表 資料6 マンホールカードとは
傍聴人の数	なし
備考	

会議の概要（発言の要旨）	
発言者	議題・発言・結果等
事務局	<p>1 開会 あいさつ（増家課長）</p>
委員、事務局	<p>2 自己紹介 委員、職員</p> <p>座長の選任 佐渡市下水道事業運営協議会開催要綱第4条第1項の規定に基づき、互選によりA氏が選任された。</p>
増家課長	<p>3 議題 事務局より資料に基づき説明を行い、委員から質疑及び意見を聴取した。</p> <p>（説明要旨）</p> <p>(1) 経営状況について</p> <p>【資料1】 佐渡市の水道・下水道施設の現状 島内の下水道施設は点在しており一つに纏めるのは難しく、結果的に12箇所の処理場をそれぞれ運用している。 島内には560kmの管路。ポンプ場は261カ所を管理する。</p> <p>【資料2】 上下水道事業の位置づけについて 水道・下水道は地方公営企業として独立採算で運営していることの概要説明。 事業運営には高額な費用となるため、使用料収入のほか、補助金・起債・繰入金や負担金等の財源が必要。</p> <p>【資料3】 佐渡市下水道事業の経営状況 佐渡市の下水道事業の経営状況を、人口規模が類似する県内のA市及びB市と比較しながら、維持管理費に対する収入の財源内訳を説明。</p> <p>【資料4】 新潟県市町村の上下水道料金一覧 県内市町村の上下水道料金の比較。佐渡市の下水道料金は県内20市中第1位の高額な金額。</p> <p>【資料5】 下水道料金ランキング表 全国における下水道使用料の高額上位となる市町村と低額な市町村を説明する。また人口規模が同程度である全国の市町村状況を紹介。全国的にみても佐渡市の下水道料金は高めとなっている。</p>

<p>石塚係長</p>	<p>(2) マンホールカードについて</p> <p>【資料6】</p> <p>佐渡市のマンホールカード取組み状況として、既に発行済の取扱い先と配布方法などの紹介。今後の予定など。</p> <p>(質疑等)</p>
<p>B 委員</p>	<p>Q 佐渡と同じ離島の沖縄県は下水道料金が安いのか。</p>
<p>増家課長</p>	<p>A 沖縄や北海道には、予算面において優遇措置がある。一概に人口密度だけでは言い切れない。</p>
<p>C 委員</p>	<p>Q. 水洗化人口とは。水洗化の比率を上げれば、収入増が見込まれるのか。</p>
<p>増家課長</p>	<p>A. 実際に下水道へ接続している人口であり、接続率が向上すれば収入となる。処理区域内人口の多い少ないより、まずは水洗化人口（接続率）の向上が重要である。高齢化が進む現状において劇的に接続率が向上するという事は厳しいといえる。</p>
<p>D 委員</p>	<p>○ 課長の話を聞いて経営状況の厳しさを感じた。県内及び全国的にみても使用料は高い状況だが、上げないとやっていけない状況なのかと感じた。</p>
<p>E 委員</p>	<p>○ 現状においてあげなきゃならないと思う。これから考察しながら10㎡の基本料金を5㎡までに見直してはどうか。個人的な考えだが、高齢化が進む中で接続しやすいよう基本料金は安くした形にし、それ以上から徐々に値上げしたほうが良いのではと思う。</p>
<p>F 委員</p>	<p>○ 佐渡市の地形的に、下水道に接続したくてもできない地域もある一方、接続できるのに入らない方々もいる。90%とはいわないが70%程度まで下水道に接続してもらいたい。そのためには、地域への周知・働きかけを求める。</p>
	<p>(3) その他 なし</p>
	<p>4 閉会 あいさつ（山口課長補佐）</p>